

広報

あなたと町をつなぐ情報誌

2015 12

平成27年12月1日

No. 6-25

はなわ

水しぶきを上げて激走中！

11月23日(月)に第26回埴町産業祭が開催されました。名物イベントの「水上俵引き競争」では、今年も白熱したレースが展開され、観客からは盛大な歓声が湧き上がっていました。

Contents (主な内容)

介護予防特集 P 2~7
第26回埴町産業祭 P 10~11
出羽神社例大祭 P 14~15



いつまでも健康で 住み慣れた我が家で 暮らしたい

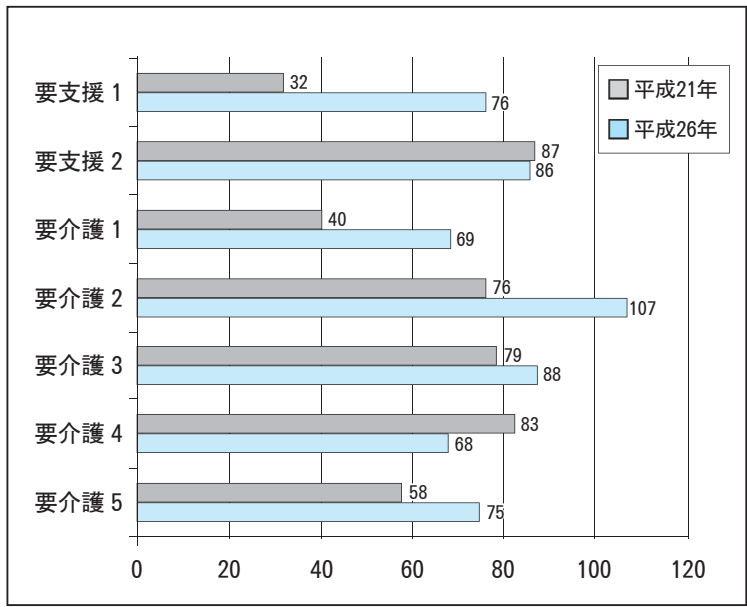
埜町のお年寄りの 約2割が介護認定者です

埜町の人口は、平成27年3月31日現在で9,435人です。そのうち、65歳以上の高齢者は、2,900人です。そして、そのうち約2割に当たる569人が、介護の認定を受けています。

〈表1〉「介護（要支援・要介護）」

認定者数の推移」をご覧ください。このグラフは、平成21年と平成26年の介護認定者数を比較したものです。このことから、5年間で介護認定の方が増加傾向にあるのが分かります。このまま増加傾向をたどれば、5年後の平成32年には、介護（要支援・要介護）認定者数は、700人を超えると思定されています。

〈表1〉介護（要支援・要介護）認定者数の推移 (単位:人)



もし、病気などで通常の生活が営まれない場合、介護認定を受けることができ、少ない自己負担で介護サービスを利用することができます。要介護状態を表す区分は、介護認定調査員が行う調査や、主治医の意見などをもとにして、全国一律の基準で判定されます。

特集 介護予防

高齢化が進むとともに、介護サービスを利用する人も増え続けています。埜町では今、要支援・要介護認定を受けた569人の方が、介護サービスを利用しています。(平成26年度末実績) 町は、介護者をなくし、元気なお年寄りが暮らす社会を目指すため、月号では、町の介護予防の取り組みと、居宅介護サービスなどについてお伝えします。



みんなでボールを使った運動 (東河内なかよしサロン)

介護にかかる手間によって区分が決定されます

生活能力はあっても、一部支援が必要な方の場合、「要支援」という区分に該当し、サービスは、要介護の状態になることを、予防する目的で利用することになります。一方、要介護は、立ち上がりや歩行が不安定で、排せつや入浴の際に、人の手を借りる必要がある場合、その手間に応じて、要介護1から要介護5に区分されています。

サービスを利用するためケアプランを作成

介護サービスを利用するためには、ケアプランと呼ばれるサービスの利用計画書を、作成する必要があります。本人や家族の希望に応じて「どのような生活を送りたいか」、目標を設定して、さまざまなサービスをどのくらい使っていくかを計画します。これは、介護支援専門員(ケアマネジャー)に依頼して作成してもらうことができます。ケアプランは、1カ月ごとに作成する必要があります。利用する方の状態の変化や、希望に合わせて見直ししていくことができます。ケアプランの作成については、本人の負担はありません。

自宅だけの生活は家族の負担が大きすぎる

自宅で、介護を受けながら生活すると、家族の負担が大きくなります。高齢者夫婦だけの世帯の場合、介護する側も体調を崩してしまうことがあります。1人暮らしの方の場合は、掃除や食事の支度など、日常の家事をするのが困難になります。しかし、住み慣れた自宅での生活を望む方も多く、住み慣れた自宅での生活、介護を選択した方や、そのご家族の負担を少しでも軽減するために、訪問介護サービスなどのさまざまな「居宅介護サービス」が提供されています。

埴町は居宅介護を 応援しています

介護ベッド・福祉用具を レンタルしています

自宅で介護を受ける場合、介護ベッドやポータブルトイレ、杖など、福祉用具と言われるものが、必要になることがあります。電動で寝起きが楽にできる介護ベッドは、購入すると高額ですが、居宅介護を進めて

いくために必要とされている福祉用具については、レンタルすることができ、費用負担は料金の1割から2割で済みます。また、直接肌に触れるシャワーチェアやポータブルトイレなど、レンタルに不向きな特定福祉用具については、購入が必要となりますが、10万円を限度として、販売価格の1割から2割の負担で購入



訪問介護員 矢田部紀美代さん(右)

「待っていたよ」「とても助かるよ」と言われると、とても嬉しいです。なるべく利用者さんの希望に添えるように頑張っています。(利用者の方の星さん(左)も掃除のお手伝い)

することもできます。これらのサービスは、利用できる福祉用具が決められていることから、レンタルや購入にあたっては、ケアマネジャーに相談してから、進めていくことになります。

ヘルパーさんの 訪問介護を行っています

訪問介護は、利用者が可能な限り、自宅で、自立した日常生活を送ることができるよう、訪問介護員(ホームヘルパー)が利用者の自宅を訪問し、食事・排せつ・入浴などの介護(身体介護)や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援(生活援助)をします。

看護師さんの 訪問看護も行っています

訪問看護は、利用者の心身機能の維持回復などを目的として、看護師などが、疾患のある利用者の自宅を訪問し、主治医の指示に基づいて、療養上の世話や診察の補助を行います。血圧や体温の測定、病状のチェックや褥瘡(床ずれ)の処置、カテーテルの管理などを自宅で受けることができます。このため、自宅に居ながらにして、心身機能の改善を図ることができます。

健康な心身を保つ 事業を進めます

自宅入浴が困難な場合は 訪問入浴をご利用ください

訪問入浴介護は、家族の介助だけでは、自宅で入浴させることが難しい方のために、車内に浴槽を備えた専用の車両(移動入浴車)で自宅を



訪問入浴は、寝たまの姿勢で入浴することができます

訪問し、介護職員が入浴の介助を行うサービスです。埴町には、移動入浴車が2台あり、1日に多い時で6件、月にすると70件から80件の利用があります。寝たまの姿勢で入浴が可能で、利用者からも「さっぱりして気持ち良かったよ」という声があり、とても好評です。デイサービス(通所介護)を利用する方は、施設内に機械浴槽が設置されている場合、希望すれば寝たまの方や普通の浴槽に入ることが難しい方でも、

寝たまの姿勢や、座ったままの姿勢で、入浴することができます。

ショートステイなどの 施設利用サービスもあります

老人保健施設やデイサービスセンター、特別養護老人ホームなどでは、日帰りでの食事や入浴、日常生活上の介護や機能訓練などのサービスを提供しています。通所介護(デイサービス)や通所リハビリと言われるもので、施設の車で自宅まで送迎もしてくれます。その他、短期入所生活介護(ショートステイ)というサービスを提供している施設では、介護度に応じた期間を限度として、一時的に施設に入所することができます。

施設を増やすことは 保険料増加につながります

通所介護(デイサービス)や通所リハビリ、ショートステイは需要の高いサービスですが、埴町ではこうしたサービスを利用できる施設の定員が少ないため、希望してもサービスを利用できない方が多いのが現状です。

ける人は増えますが、利用者が増えると介護給付費(半分为保険料、半分を保険者である町や国が負担)も増えてしまいます。結果的に、介護保険料を高くしなければ、介護給付費に充てるお金も足りなくなってしまうので、積極的に施設を増やすわけにはいきません。

できることは自分でします

訪問介護(生活援助)を1週間に3日利用しています。自分でできることは自分でしていますが、調理や掃除などの支援は、とても助かっています。料理もとてもおいしいですし、ヘルパーさんが来てくれるのが楽しみになっています。



星 忠平さん(中塚)

◆訪問介護員(ホームヘルパー)

訪問介護員は、資格を取得しなくても、介護を受ける人の身体に直接ふれない業務を行うことができます。例えば、施設への送迎や掃除、洗濯、買い物などです。一方、食事の介助や、排せつや着替え、入浴のお手伝いなどを行うには、130時間にも及ぶ介護職員初任者研修を受講して、資格を取得しなければなりません。

■問い合わせ(ホームヘルパー利用に関すること)
健康福祉課 高齢者支援係 ☎43-2227
埴町社会福祉協議会 ☎43-2154

◆介護のための住宅のリフォーム

床の段差をなくしたり、トイレやお風呂に手すりをつけたりして、自宅で介護しやすくするための改修工事を行った場合、その一部について補助を受けることができます。補助を受けることができる費用の限度額は20万円で、そのうち1割(または2割)は自己負担となります。既存の住宅を改修した場合に限られ、補助を受けたあとに、介護度が3段階以上重くなった場合には、再度申請することができます。

■問い合わせ
健康福祉課 高齢者支援係 ☎43-2227



訪問入浴 介護事業所スタッフ

(左から)
鈴木 信一さん
小松八重子さん
石井イミ子さん

「気持ちよかった。また待ってるよ」と言われると、とても嬉しいです。入浴時間は10分くらいで、なるべく長湯しないように心掛けています。

地域で支えあう 介護予防が大切です

地域支援事業を実施し 元気な高齢者を応援します

これまでに紹介してきましたさまざまなサービスは、要介護の方のための介護サービスと、要支援の方のための介護予防サービスです。

埴町は、要支援にも該当しない方が、健康な心身を少しでも長く維持できるようにする事業にも取り組んでいます。代表する事業として、介護予防のための「楽しく元気アップ教室」や、各地区で開催されている高齢者向けのサロン活動があります。

楽しく元気アップ教室で 楽しみながら運動できます

平成18年の介護保険法の改正により、介護予防事業が創設されたことを受け、埴町でも高齢者の運動機能や口腔機能の向上や、認知症予防を目的とした「介

護予防教室」を開催しています。今年度の「楽しく元気アップ教室」は、第6次介護保険事業計画（平成27年度から平成29年度）の策定のために実施した、「日常生活圏域ニーズ調査」の項目のひとつである、生活機能の判定結果をもとに対象者を抽出し、参加者を募集しました。全13回の教室では、軽めの運動やレクリエーションを中心に、栄養に関する講話や、歯科衛生に関する指導も行われ、参加者は初回に体力、体重測定を実施します。その後は、毎回体重や血圧などを測定して記録し、最終回では再び体力測定を行って、これまでの成果を確認し、教室が終わっても、自宅で運動を継続できるように、復習を行って閉講します。毎年20名前後の方が受講しており、中には継続して参加している方もいます。毎回笑い声が聞こえる教室は、とても好評です。



みんなで楽しく運動「楽しく元気アップ教室」



効果が期待できる機能訓練

「デイサービスセンター」は自立支援の場です

デイサービスは、病気やけがなどのために、身の回りのお世話が必要になった方を対象に、入浴・食事の提供、レクリエーションや機能訓練などのサービスを提供することで、日常生活の自立を支援する日帰りの介護サービスです。デイサービスは多くの方から好評をいただいています。

デイサービスについてのお問い合わせは、埴町社会福祉協議会（☎43-2154）までお願いします。

—利用者さんの声—

- デイサービスを利用して友達ができました。
- 機能訓練のおかげで、少しずつ歩けるようになりました。
- いろんな方と交流ができて元気が出ます。
- デイサービスに行った夜はぐっすり眠れます。
- スタッフさんもとても親切で感謝しています。
- 食事もとてもおいしいです。



みんなで体操の時間です



楽しくおしゃべり

「いきいき健康教室」などで 心と体を元気にします

介護予防の取り組みとして、高齢者向けの「サロン」や「いきいき健康教室」があります。

「サロン」は、地域包括支援センターが関わり、大蔵、東河内、水元の3地区で開催されていて、各地区合わせて約100名の方が参加しています。会場はそれぞれの地区の集会所や公民館分館で、運動やレクリエーション活動、講師を招いての講話などを行います。活動内容は、参加者間の話し合いで決めていて、地域のつながりを強めながら、自ら介護予防につながる活動ができる高齢者を増やし、定期的に継続していける地域づくりを進めていくことを目標としています。

「いきいき健康教室」は、町の健康福祉課が中心となり、保健推進員や民生児童委員、保健師、看護師、栄養士といった方々の協力をいただきながら、田代、那倉、上石井、真名畑の4地区で開催されています。参加者は、延べ人数で約280人で、IP告知システムや回覧板のほか、保健推進員や民生児童委員の方が、地区のお年寄りに声をかけて募集しています。サロンと同じような健康づくり、生きがいづくりの活動に加えて、食事や栄養に関する指導や、脳の神経活動の効率を高めるためのトレーニングを定期的に行うなど、認知症の予防にも取り組んでいます。

介護職員を目指す皆さんへ —受講費用無償化検討—

高齢者の増加とともに、介護が必要な人も増加する一方で、サービスを提供する介護職員の不足は深刻な問題となりつつあります。人手不足の大きな要因は、採用が困難であるという調査結果が出ていて、これは、社会的、制度的な問題のほか、各事業所の経営方針の問題もあると言われています。

埴町では介護職員の人材確保のために、新採用職員や若手職員を対象とした助成制度を創設し、実施する予定となっています。また、資格取得についても町内や郡内で受講することができるような環境作りや、受講費用の無償化などを検討し、雇用の創出と介護職員の確保につなげていきたいと考えています。

詳しい内容については、健康福祉課（☎43-2227）までお問い合わせください。

共に歩んで60年

― 埴町町制施行60周年記念式典 ―

埴町町制施行60周年記念式典は、11月22日（日）に埴農村勤労福祉会館で、約130人が参列して挙行されました。

式典では、菊池基文町長が「今日の埴町を築いてくださった先人の皆さんに感謝を申し上げるとともに、今後も『みんなが主役』しあわせ実感のまち はなわ」の実現に向けて邁進していきます。」と式辞を述べ、鈴木道男議長があいさつを述べました。また、二瓶隆男前埴町長に自治特別功労賞が贈られたほか、33名の方に功労者表彰が贈られ、今年完成した埴町防災センター、学校給食センターの建設に寄与された方々に感謝状が贈られました。その後、内堀雅雄福島県知事、宮川政夫福島県議会議員から来賓祝辞をいただき、埴町のさらなる町政伸展を誓いました。



特別功労表彰を受章した二瓶隆男前町長（左）



ご来賓の内堀雅雄知事



式辞を述べる菊池基文町長



功労表彰、感謝状を贈呈された皆さま

皆さまの長年にわたる功労に感謝申し上げます。

功労者表彰および感謝状贈呈者は以下のとおりです。

◆自治功労表彰

■特別功労表彰

(埴町町長として4期16年在職し、町政振興に寄与された)

二瓶 隆男 様

■功労表彰

(埴町議会議員として12年在職し、町政振興に寄与されている)

藤田 恵二 様 大縄 武夫 様 割貝 壽一 様

◆善行表彰

■功労表彰

(長年にわたり善意による敷地の利用など、本町の教育行政に寄与されている)

白石 禎彦 様 石川 濃 様

(平成27年8月17日に多額の金員を寄付された)

遠藤 照久 様

◆民生福祉功労表彰

■功労表彰

(消防団員として勤務状況が良好であり、15年以上勤務している)

渡部 雅紀 様 千葉 勝彦 様 藤田 英留 様

海野 芳洋 様 諏合 進一 様 下重 広次 様

小松 清勝 様 生方 幸教 様 本多 克己 様

佐藤 元 様 小峰 幸弘 様 鈴木 誠一 様

鈴木 真吾 様 藤田 誠一 様 本多 永貴 様

菊池 薫 様 生田目芳則 様 草野 誠一 様

大友 真樹 様 穂積 英徳 様 上妻 慎弥 様

下重 嘉守 様 石森 智一 様 小峰 裕二 様

八木 忠弘 様 金澤 秀紀 様 戸井田 亮 様

◆感謝状表彰

(埴町防災センター建築にあたり多年の経験と優秀な技術により工事の完成に寄与された)

深谷建設株式会社 様

株式会社鈴木伸幸建築事務所 様

(埴町学校給食センターの建築にあたり多年の経験と優秀な技術により工事の完成に寄与された)

有限会社常豊工務店 様

株式会社清水公夫研究所 様

(埴町学校給食センターの建築にあたり用地協力をいただき工事の完成に寄与された)

下重 章 様 下重スエ子 様

埴町の歴史

- 昭和30年 埴町、笹原村が合併し埴笹原町となり、その後、石井村、高城村の一部が加わり埴町と改称。埴町が発足
- 昭和32年 石井3地区（中石井、下石井、戸塚）が分町し、矢祭町に編入。分町問題で町内が騒然に
- 昭和34年 棚倉町大字八槻字松岡、津島、川原のうち、久慈川本流を境とし左岸全部を埴町に合併
- 昭和37年 東白4町村で、東白川地方衛生処理組合設立
- 昭和43年 町章制定
- 昭和62年 東河内から鮫川村渡瀬にかけて火災発生
- 平成元年 小野田寛郎氏「小野田自然塾」を設立
- 平成2年 町民憲章・町の「花・木・鳥」を決定
- 平成8年 埴町商店街「実・夢カード」を導入
- 平成10年 湯遊ランドはなわ完成・営業開始
- 平成11年 介護老人保健施設「久慈の郷」完成
- 平成12年 埴町デイサービスセンター開所
- 平成14年 ダリアを町の花に認定。東白川地方3町村合併研究会設置。棚倉町・埴町・鮫川村法定合併協議会設置
- 平成15年 那倉小学校閉校。120年の歴史に幕。道の駅はなわ完成・営業開始。棚倉町・埴町・鮫川村の合併を問う住民投票で、反対が賛成を上回り、法定合併協議会が解散
- 平成16年 埴町立あぶくま高原美術館完成
- 平成17年 町制施行50周年式典挙行
- 平成18年 山・水・花の町づくりがスタート
- 平成19年 風呂山公園山ツツジが「福島遺産百選」に選定
- 平成20年 高城幼稚園が閉園。埴幼稚園に統合
- 平成21年 天領大橋開通
- 平成22年 竹パウダー農法開始。埴中学校新校舎完成
- 平成23年 平成22年国勢調査で町の人口1万人を下回る。東日本大震災発生（埴は震度5弱）。第5次長期総合計画スタート。IP告知端末機が本格運用
- 平成24年 片貝小学校、矢塚分校が閉校、笹原小学校に統合。風呂山公園の山ツツジが植樹100周年。ダリちゃんショップが葛飾区にオープン。ゆるキャラ「ダリちゃん」が誕生
- 平成25年 高城小学校が閉校、埴小学校に統合。
- 平成26年 一般社団法人天領の郷はなわが発足
- 平成27年 町制施行60周年。埴町防災センター完成。埴町学校給食センター完成



スタートに向けて息を合わせます



依引きのパフォーマンスに観客も笑顔になります



「よく頑張った！」健闘をたたえ合います

第25回埴代官カップ！ 水上依引き競争



笑顔が光ります



埴工業高校和太鼓部の勇壮な演奏

第26回埴町産業祭 つなげよう 人の輪 花の輪 感謝の輪

町の一大イベント「第26回埴町産業祭」が、今年も11月23日（月）勤労感謝の日に、埴小学校で盛大に開催されました。会場には約50の露店が建ち並び、ステージでは吹奏楽や太鼓の演奏をはじめ、トップアスリートによるパフォーマンス、よさこい踊り、大飯食い競争などが行われ会場を盛り上げていました。11時30分からは開会セレモニーが行われた後、ダリアづくりコンテスト、ダリア写真コンテストの表彰式が行われました。イベントの最後は、恒例の踊り流し。その後、万歳三唱を合図に、5,000個の大投げ餅大会が行われ、今年の産業祭も大盛況で幕を閉じました。



吹奏楽で会場は盛り上がりました



今年も圧巻の走りを披露！モンテローザ陸上競技部



手塚伸一アナウンサーも大飯(5合飯)食いにチャレンジ



ダリちゃんは今も大人気



5,000個の投げ餅が宙を舞います



笹原弘法太鼓が花を添えます



よさこい踊りは楽しいね

水上依引き競争結果

【メインレースの部】

- 優勝：Golden Age（郡山市）
- 準優勝：埴工業（埴町）
- 3位：ベルリンの赤い雨（天栄村）

【女性の部】

- 優勝：エキスパート・ナース（埴町）
- 準優勝：G・A・L（埴町）
- 3位：NICEな女たち（埴町）

【仮装の部】

- 優勝：モンテローザ陸上競技部（東京都）
- 準優勝：埴中ストちゃん♡s（埴町）
- 3位：農業GIRL（埴町）

埴町産業祭の名物イベントである「第25回埴代官カップ！水上依引き競争」が、埴小学校東側の久慈川で行われました。今年、メインレースに10チーム、女性の部に7チーム、仮装の部に3チームの合計20チームが出場。1チーム4人編成で、3つの依が乗ったイカダ（約65キ）を引くレース。メインの部は120m、女性と仮装の部は100mのコースで速さを競い、大激走が繰り広げられました。優勝を目指し力走する選手のパフォーマンスに、観客からは拍手や声援が送られました。昨年引き続き、ラジオ福島の手塚伸一アナウンサーによる生放送と、レースの実況中継があり、会場は大いに盛り上がりしました。

町人事行政の運営状況

埴町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第3条の規定に基づき、職員数や給与、サービスなどの状況について公表します。

■問い合わせ 総務課総務係 ☎43-2111

1. 職員数および任免の状況

●部門別職員数の状況（各年度4月1日現在）

機 関 名	増減職員数			対前年度増減数	増減理由
	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
町 長 部 局	80人	80人	86人	6	退職-3人、採用9人
議 会 事 務 局	1人	1人	1人		
教 育 委 員 会	28人	28人	27人	-1	退職-1人、異動-1人、採用1人
選挙管理委員会	1人	1人	1人		
監査委員会事務局	1人	1人	1人		
農 業 委 員 会	1人	1人	1人		
合 計	112人	112人	117人	5	

※職員数は、一般職に属する職員数です。

●職員数適正管理の数値目標および進ちょく状況等

区 分	増 減 職 員 数					(参考) 第3次計画実績
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
定員適正化目標	110人	110人	110人	110人	110人	124人 ⇒ 114人
定員適正化実績	110人	112人	112人	112人	117人	平成22年度末 110人
対前年度増減数	—	2人	—	—	—	目標を4人上回る減員達成

※第4次の目標（平成27年度まで平成23年度末の職員数を維持する。）

●職員の採用および退職の状況（平成26年度）

区 分	採 用	退 職				合 計
		定 年	勸 奨	其 他	合 計	
一 般 職	8人	2人	—	2人	4人	
合 計	8人	2人	—	2人	4人	

2. 職員の給与の状況

●人件費の状況（普通会計）

住民基本台帳人口 平成27年3月31日現在	歳出額 (A)	人件費 (B)	人件費率 (B/A)
9,435人	6,040,627千円	894,938千円	14.8%

※人件費には、特別職に支給される報酬等も含まれています。

●職員給与費の状況（平成27年度当初予算・普通会計）

区 分	給 与 費			
	給 料	期末・勤勉手当	その他の手当	計
平成27年度	382,707千円	142,094千円	60,031千円	584,832千円

●初任給および経験年数別・学歴別平均給与月額状況（平成27年4月1日現在）

区 分	初任給	経験年数				
		採用2年経過後	10年	15年	20年	
一 般 行 政 職	大学卒	179,300円	191,400円	245,200円	292,200円	324,200円
	高校卒	146,300円	156,300円	213,100円	245,200円	292,200円

●特別職の報酬等の状況（平成27年4月1日現在）

区 分	報酬月額	期末手当
町 長	780,000円	平成26年度支給実績 3.05月分
副 町 長	624,000円	
教 育 長	589,000円	
議 長	272,000円	
副 議 長	206,000円	
議 員	188,000円	



住民票を交付する職員

●職員の平均年齢、平均給料月額および平均給与月額状況（平成27年4月1日現在）

区 分	一般行政職
平均年齢	42歳6月
平均給料月額	323,800円
平均給与月額	368,800円

●各種手当等の状況（各年度4月1日現在）

期末・勤勉手当 (一般職)	○期末手当 2.55月分 ○勤勉手当 1.5月分 年間4.05月分を2回に分けて支給します ※役職加算5%~15%
退 職 手 当	勤続35年の場合 ○自己都合 41.325月分 ○勸奨・定年 49.59月分
時 間 外 勤 務 手 当	○平成26年度支給実績19,869千円 ○平成26年度職員1人当たり平均支給年額 262千円
扶 養 手 当	○配偶者・・・13,000円 ○扶養親族たる子父母等・・・1人につき6,500円 (配偶者がいないときは、1人については11,000円)
住 居 手 当	○借家借間・・・27,000円上限
通 勤 手 当	○交通機関などの利用者・・・55,000円までは全額、55,000円を超えた場合、その超えた額の1/2の額を55,000円に加えた額 ○自動車等使用者・・・通勤距離に応じて、2,600円~50,400円
特 殊 勤 務 手 当	○危険、不快、不健康または困難な業務に従事する職員に対して支給 行旅死病人取扱手当1日5,000円、防疫作業手当1日500円
管 理 職 手 当	○職に応じた額（定額）

3. 職員の勤務条件の状況

●勤務時間

1週間の正規の勤務時間	38時間45分
1日の正規の勤務時間	7時間45分
開始時刻	午前8時30分
終了時刻	午後5時15分

●休暇制度

休暇の種類	付 与 日 数
年 次 有 給 休 暇	年ごとに20日間付与され、20日を超えない範囲内の残日数は、翌年度に繰り越し可能 ※平成26年平均取得日数・・・8.1日
主 産 前 産 後 休 暇	産前8週間、産後8週間以内
配 偶 者 の 出 産 休 暇	3日以内
育 児 休 暇	1日2回各30分以内
子 の 看 護 の た め の 休 暇	5日以内
忌 引 休 暇	続柄により1~10日以内
夏 季 休 暇	5日以内
ボ ラ ン テ ィ ア 休 暇	5日以内
結 婚 休 暇	10日以内

7. 職員の福祉と利益の保護の状況（平成26年度）

●健康診断等の受診状況

区 分	受診者数(延べ)
定期健康診断	169人
人間ドッグ	0人

●公務災害等の状況

区 分	件 数
公務災害	1件
通勤災害	0件

8. 公平委員会の業務の状況（平成25年度）

●健康診断等の受診状況

区 分	件 数
勤務条件に関する措置の要求の状況	0件
不利益処分に関する不服申立ての状況	0件

4. 職員の分限処分と懲戒処分の状況

(平成26年度)

●分限処分・・・0件

●懲戒処分・・・0件

5. 職員のサービスの状況（平成26年度）

●服務義務違反・・・0件

6. 職員の研修の状況（平成26年度）

●研修状況

区 分	受講者数
ふくしま自治研修センター	36人
その他の研修	9人
計	45人





出羽神社例大祭の最大の見せ場「大寄せ」で、祭りは最高潮を迎えました



心を静め、祭りの準備



桜青会の神輿は迫力満点



お祭り楽しいね

3年に一度。
伝統を受け継ぐ者たちが
見せる勇壮な姿。
塙町が誇る祭事は再び3年後へ。



凛々しい表情



区内安全を祈願



子どもたちの笑顔が光ります



古式ゆかしい神輿渡御行列



練習の成果をここに披露



力を合わせ自慢の山車を引きます



「わっしょい！」子どもたちの声が響き渡ります

出羽神社例大祭

3年に一度の出羽神社例大祭が、10月30日(土)・11月1日(日)の2日間にわたり開催されました。10月30日(土)の午前10時に、神輿渡御行列が竹之内を出発。大字塙地区を巡回し、御仮屋で区内安全が祈願されました。地区内には、塙1区から塙6区の山車が太鼓や篠笛の華麗な音色とともに、「わっしょい!わっしょい!」のかけ声を響かせながら運行し、祭りを盛り上げていました。

2日目となった11月1日(日)は、出羽神社例大祭最大の見せ場である「大寄せ」が行われ、駅前の交差点に各行政区の山車が集合しました。塙祭ばやし保存会や、各行政区の合同演奏が披露され、駅前に集まった多くの観客から、盛大な拍手が送られていました。



幼稚園・保育園の入園児を募集します

埴・常豊・笹原幼稚園



▶ 笹原幼稚園もちつき

入園対象児（新規のみ）
 4歳児（平成23年4月2日から平成24年4月1日生まれ）
 5歳児（平成22年4月2日から平成23年4月1日生まれ）

募集期間
 12月10日（木）から12月24日（木）まで
 ※土日祝日を除く

受付場所 役場窓口（印鑑持参）

提出書類

- ①入園願書
 - ②対象児の住民票抄本（200円）
 - ③埴町支給認定申請書
- ※全て役場窓口にご用意しております。②は役場窓口で申請し、そのまま役場窓口へ提出してください。

預かり保育

教育時間終了後、保育が必要な幼児を対象に預かり保育（有料）を実施しています。願書と一緒に「預かり保育利用希望調査」を提出してください。

問い合わせ

教育委員会 学校教育課
 ☎（43）4050

埴保育園



▶ 埴保育園いもほり

入園対象児
 6カ月児から3歳児
 （平成24年4月2日以降生まれの乳幼児）

募集定員 70名

募集期間
 12月1日（火）から平成28年1月4日（月）まで

受付場所 健康福祉課または埴保育園

入園資格

保護者が昼間に家庭内外で就労しているときなど、保育が困難なとき。ただし、保護者以外の方が保育できる場合は除きます。

提出書類

- ①埴保育園入所申込書
 - ②埴町支給認定申請書または現況届
 - ③就労証明書
 - ④その他必要な書類
- ※提出書類は役場窓口および埴保育園にご用意しております。

問い合わせ

健康福祉課 福祉係 ☎（43）2115
 埴保育園 ☎（43）0377

お体を大切に過ごしてください

—平成27年度友愛訪問—

町内の65歳以上のひとり暮らし・寝たきり高齢者を町長が訪問する「友愛訪問」が、11月6日（金）から11日（水）にかけて民生児童委員の方々の協力のもと行われました。菊池基文町長が約160件のお宅を訪問し、慰問品を贈り励ました。

毎年行っているこの事業。町ではこのほかに、高齢者見守り事業訪問員35人が、1ヵ月に1回以上ひとり暮らしの高齢者を訪問し、安否確認や話し相手になるなどの活動を行っています。

問い合わせ

健康福祉課 高齢者支援係 ☎（43）2227



菊池基文町長から慰問品を受け取る藤田セキさん（板庭）

郷土の誇りを胸に 全力で駆け抜けた16区間

第27回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会—ふくしま駅伝—



サンバイザーにダリアを飾りゴール



羽田友哉 監督

目標の敢闘賞にはあと一歩届きませんでした。来年につながる良い大会になりました。さらに上位を目指して頑張っていきたいと思っております。たくさんの応援ありがとうございました。

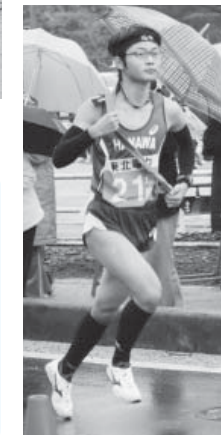
■ 昨年より6位順位を上げる

11月15日（日）、第27回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）が行われ、埴町チームは、5時間53分57秒のタイムで、総合43位、町の部23位という成績でした。総合の部では6位、町の部では5位順位を上げました。11月4日（水）にチーム結団式を行い、大会に向けて日々練習を重ねてきました。迎えた本番では、しらかわカタルスポーツパーク陸上競技場をスタートし、福島県庁前までの16区間、95・1kmを力走しました。

中学生中心の若いメンバーでレースに臨んだ埴町チームは、最後まであきらめずに全力で走り抜きました。



選手・スタッフの皆さんに大きな拍手を



中学生の活躍が光りました

埴町チーム紹介（敬称略）

■監督	羽田 友哉（埴町役場）
■コーチ	布施 祥平（埴中教員） 近藤 誉之（小名浜第二小学校教員）
■支援コーチ	廣木 祐太（埴中教員） 古市 暁（埴中教員）
■選手	1区 大縄 莉桜（埴中2年） 2区 菊池 敏幸（埴中3年） 3区 添田 陽斗（埴中3年） 4区 菊池 敦郎（NTN株式会社） 5区 鈴木 柊（学法石川高校1年） 6区 藤田 哲史（東京農業大学） 7区 八幡 隼平（埴中3年） 8区 中井 瑞輝（埴中2年） 9区 大森 麻央（埴中1年） 10区 松本 淳（愛知製鋼株式会社） 11区 佐藤 杏奈（埴中3年） 12区 羽田 琢（鶴岡市消防本部） 13区 鈴木 貴之（東京消防庁） 14区 生方 琢人（埴中3年） 15区 星 舞美（埴中2年） 16区 大野 剛（住友不動産工フォルタ） 補欠 金澤 翔太（埴中2年） 補欠 遠藤 泰輔（埴中2年） 補欠 生方 美優希（埴中2年） 補欠 藤田 佳奈（埴中2年） 補欠 後藤 直樹（埴中1年） 補欠 鈴木 愛梨（埴中1年）

埴中学校のさらなる充実を図る

—柔剣道場改築工事安全祈願祭—



工事の安全を祈願する菊池基文町長

埴中学校柔剣道場改築工事の安全祈願祭が、11月9日（月）に現地で行われました。施設の老朽化に伴い、同校体育館脇（旧学校給食センター跡地）に鉄骨造平屋建て（559.57㎡）の柔剣道場を新たに建設します。

完成予定は、平成28年3月です。これにより、埴中学校のさらなる充実が図られます。

埴中学校柔剣道場改築工事

場 所	大字竹之内草田地内
構 造	鉄骨造平屋建て
延床面積	559.57㎡
完成予定	平成28年3月

健康推進だより ⑤ 「尿中塩分測定の結果報告」

◆**年代別の結果**
年代別の結果は下表のとおりです。食塩摂取量は70代が最も多

◆**町全体の結果**
1,565人の平均値は9.8gで、男女共に目標値を超える結果となりました。男女別に見てみると、男性10.1g、女性9.5gで男性の方が摂取量が多いことが分かりました。福島県の平均、男性12.1g、女性9.9g(平成24年国民健康・栄養調査より)と比べ、埴町は少ない結果となりました。

◆**食塩摂取量の目標値**
男性・8g未満
女性・7g未満
(「日本人の食事摂取基準2015」より)

9月に町の健診を受けられた方はお手元に結果が届いたと思います。今年から健診結果に「推定食塩摂取量」という項目が追加されていたのはお気づきになりましたか。この項目では「自分が1日に取っているおおよその塩分量」を知ることができま

健康相談会開催中です
今年の健診では「1日にどのくらいの塩分を摂っているのか」を調べました。その結果の見方や身体に必要な「減塩」ポイントなど「塩分」をテーマにお話します。会場では、ご家庭のみそ汁塩分濃度測定も実施いたします。みそ汁は具材なしで100ml程度お持ちください。健診結果と健康手帳もご持参ください

年代別の結果(平均値)(単位:グラム)

年代(受診者)	食塩摂取量	男		女	
		男	女	男	女
40代(71人)	9.0	9.4	8.5		
50代(170人)	9.7	10.4	9.5		
60代(536人)	9.8	10.4	9.6		
70代(267人)	9.9	10.4	9.6		
80代(267人)	9.7	9.9	9.5		
90代(15人)	8.4	8.5	8.2		

9.9g、同じく90代が最も少ない8.4gという結果でした。男女別にみると、いずれの年代でも男性の摂取量が女性の摂取量を上回っています。40代においては、男女差が最も大きく、0.9gの差がありました。

健康福祉課 健康推進係
問い合わせ
☎(43)2115

当日有権者数 7,635人

埴町の投票率は **66.77%**



投票事務を行う職員

候補者氏名	得票数
宮川 政夫	3,010票
立原りゅういち	2,037票

11月5日(木)告示の福島県議会議員一般選挙が、11月15日(日)に行われました。期日前投票などを含めた埴町の投票結果は上記のとおりです。

なお、埴町の投票率は66.77%で、前回(平成19年4月8日投票)の78.52%を下回る結果となりました。

福島県議会議員一般選挙結果



抽選で100名様に地場産品をプレゼント — 町税等口座振替推進キャンペーン —

平成27年12月30日(水)まで

埴町納税貯蓄組合連合会では、口座振替加入促進のため、「町税等口座振替推進キャンペーン」を実施しています。期間中に対象税目等の口座振替を申し込みされた方の中から抽選で100名様に地場産品を贈呈します。この機会にぜひ、「安心・便利・確実」な口座振替をご利用ください。

■**対象税目等**

町県民税(※)、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税(※)

(※)の税目は納付書による納付分のみ対象

■**対象者**

キャンペーン期間中に対象町税等の口座振替を申し込みした方。ただし、次に該当する方は対象となりません。(①対象町税等が課税されていない、または来年度以降課税の見込みがない方 ②対象町税等について、すでに口座振替を利用している方 ③すでに利用

している口座振替を廃止し、再度同じ対象税目等の口座振替を申し込まれた方 ④申し込まれた方に町税等の滞納がある方

■**申し込み方法**

下記の金融機関や、役場会計室の窓口にある「口座振替納付依頼書」に必要事項を記入、通帳の届出印を押印のうえ、金融機関に直接お申し込みください。

■**対象金融機関等**

東邦銀行埴支店、白河信用金庫埴支店、東西しらかわ農業協同組合、福島銀行棚倉支店、大東銀行棚倉支店、ゆうちょ銀行(郵便局) ※金融機関によっては上記以外の支店でも対象となります。詳しくは下記のとおりお問い合わせください。

■**当選発表**

当選の発表は、景品の発送(平成28年2月)をもって代えさせていただきます。

■**問い合わせ**

埴町納税貯蓄組合連合会事務局(町民課収納係)
☎(43)2113

住民基本台帳 閲覧状況の公表

住民基本台帳法の改正により、住民基本台帳の閲覧の状況を毎年1回以上公表することが規定されています。平成26年11月1日から平成27年10月31日までの閲覧状況を公表します。

閲覧請求をした国、地方公共団体等および閲覧申し出をした法人の名称	請求事由の概要	閲覧の年月日	閲覧にかかる住民の範囲
自衛隊福島地方協力本部 白河地域事務所	自衛官の募集に伴う広報	平成25年11月20日	町内の平成8年4月2日~平成9年4月1日生まれの男女106名 平成11年4月2日~平成12年4月1日生まれの男子50名
福島県	男女共同参画・女性の活躍促進等に関する県民意識調査	平成26年12月12日	大字台宿に居住する満20歳から60歳までの男女14名

■**問い合わせ** 町民課住民係 ☎43-2114

新刊案内



「下町ロケット2
ガウディ計画」

池井戸潤/著
(小学館)

直木賞受賞作品の続編です。物語は宇宙から人体へと変わり、中小企業 vs 大企業の新たな困難に挑戦します。勧善懲悪で涙あり!



「クリスマスの
ふしぎなはこ」

長谷川摂子/文
齊藤俊行/絵
(福音館書店)

●**ものがたり**

クリスマスの朝に男の子が縁の下で小さな木箱を見つけました。中にはサンタさんが…。でもサンタさんは、まだぐっすり眠っています。男の子はお母さんに内緒で自分のベッドの下に木箱を隠して、そっとのぞいてみることに。男の子が次に木箱をのぞいた時は、サンタさんは出発するところでした。さて、今日中にサンタさんは男の子の家に来ってくれるかな?

図書館情報

12月の
テーマ

クリスマスの本

図書館では毎月テーマを決め、そのテーマに関する本を集めたコーナーを設けています。今月も、その中から一冊の本を紹介いたします。なお、読みたい本が貸し出し中の場合、予約もできます。(☎43-0808)



サークル活動、イベント等に参加希望の方、お問い合わせの方は、はなわスポーツクラブ事務局にお問い合わせください。

第4回 塙町長杯カローリング大会(第6回B&G塙海洋クラブカローリング大会)

この大会は、はなわスポーツクラブのチームが、福島県代表として全国大会に出場したことを記念して開催します。

皆さんご参加ください。

日時 平成27年12月20日(日)

開会式 午前9時30分

場所 塙町営体育館アリーナ

参加費 無料(3人1チームでお申込みください)

申込先 はなわスポーツクラブ(☎0247-57-6589)



サッカー教室は塙小学校に変更

サッカー教室の活動場所は12月から塙小学校体育館になります。毎週火曜日、午後7時から活動しています。

totoの助成によりサッカーのユニフォームが出来ました。大会に向けて頑張っています。



癒しの時間

ハーブ・アロマを学びながら、楽しく香りグッズなどを作る教室です。今回は、ハーブを使いクリスマスリースを作ります。定員になり次第締め切ります。

日時 12月16日(水)午後7時から

場所 塙町公民館(☎0247-57-6589)

いますぐ検索!

はなわスポーツ

検索

HP内ブログにて、日々の活動の様子をアップしています。

携帯電話からでもアクセスできます



NPO法人
はなわスポーツクラブ
http://hanawa-fsc.jp

塙町大字塙字桜木町80(塙町営体育館内)
☎0247-57-6589 FAX57-6587
mail:hanawa.fsc@gmail.com

12月のなかよしルーム参加者募集♪

12月は『クリスマス会～みんなで会食～』です。クリスマス会の内容は当日までのお楽しみ♪
会の最後は子育てサポーターさん特製の『カレー』を食べて、一足早いクリスマスパーティーをみんなで楽しみましょう♪(事前申し込みが必要です)

日時: 12月11日(金) 午前10時から

場所: 塙町公民館 1階和室

費用: 1家族 200円(食材代)

持ち物: カレー用のごはん(炊いたもので食べる分だけ)
お皿・スプーン(普段使っている物)

申込期限: 12月10日(木)

申込み先: 塙町公民館 ☎43-0320

なかよしルームは、0歳から幼稚園入園前のお子さんとその保護者を対象にした子育て講座です。子育て中の皆さんで交流し、情報交換やお友だちの輪を広げる場としてご活用ください。お母さんだけでなく、お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんの参加も大歓迎です!



マナビ はなわ

～塙町生涯学習だより～ 12月号
発行: 塙町教育委員会生涯学習課

問い合わせ

■生涯学習課

☎43-2644

■塙町公民館

☎43-0320

■まナビとファインダー URL

http://www.yumemanabito.jp

第31回 塙町青少年の主張大会

第31回塙町青少年の主張大会が、11月7日(土)に塙町公民館で開催されました。町内の小・中学生と高校生の14名が、日頃思っていることや将来の夢などをまとめ、熱い思いを言葉に乗せて約200名の聴衆を前に発表しました。

どの発表も素晴らしく、甲乙つけがたいものでしたが、厳正な審査の結果、下記の3名が最優秀賞に選ばれました。

なお、主張発表後には、塙工業高校和太鼓部の演奏が披露され、会場は、大いに盛り上がりました。

最優秀賞

○小学校の部

松本 悠伍さん(笹原小学校6年)

○中学校の部

佐藤 瑞紀さん(塙中学校2年)

○高等学校の部

鈴木 かれんさん(学法石川高校3年)



▲主張発表をした児童・生徒の皆さん

第31回 塙町青少年の主張大会

(発表順)

氏名	学校・学年	テーマ
鈴木 遥さん	笹原小学校6年	音楽という魔法
金澤 遥希さん	塙小学校6年	戦争のない未来と私
青砥 桃花さん	常豊小学校6年	平和な未来にするために
松本 悠伍さん	笹原小学校6年	水泳が教えてくれたこと
上妻 遥菜さん	塙小学校6年	書道を通して学んだこと
鈴木 柊さん	常豊小学校6年	笑顔の力
金澤 恵美さん	塙中学校1年	面倒でも、少しだけ
佐藤 瑞紀さん	塙中学校2年	自分らしさ
佐藤 杏奈さん	塙中学校3年	私とドライブ
鈴木かれんさん	学法石川高校3年	叶えたい未来
芳賀 美咲さん	光南高校1年	未来へ
松本 圭祐さん	白河高校1年	友の存在
保住 葉那さん	塙工業高校3年	塙再考
八幡 百恵さん	修明高校2年	私の夢



▲力強い太鼓演奏は、聴衆を魅了しました。(塙工業高校和太鼓部)

平成28年成人式 塙農村勤労福祉会館で開催

成人される方の新しい門出を祝い励ますため、下記のとおり成人式を举行します。今年は会場が塙農村勤労福祉会館(役場庁舎北側)となりますので、お間違えのないようご注意ください。

日時 平成28年1月10日(日) 午前11時
(受付は午前10時から)

会場 塙農村勤労福祉会館(役場庁舎北側)

対象 平成7年4月2日から平成8年4月1日の間に生まれた方で、塙町に住居登録してある方および塙町出身の方



▲昨年の成人式

情報らしの

◆埴町役場の電話番号（代表）
TEL 0247-43-2111
FAX 0247-43-2116
◆町のホームページアドレス
<http://www.town.hanawa.fukushima.jp/>
◆町のメールアドレス
soumu@town.hanawa.fukushima.jp
※ご意見・ご要望のある方はご利用ください。

【各課などの直通電話番号】
総務課 43-2111
町民課 43-2113
43-2114
健康福祉課 43-2115
包括支援センター 43-2224
43-2227
まち振興課 43-2112
43-2118
まち整備課 43-2117
生活環境課 43-2148
会計室 43-2149
埴保育園 43-0377
議会事務局 43-2150
農業委員会 43-2119
学校教育課 43-4050
生涯学習課 43-2644
公民館 43-0320
図書館 43-0808
給食センター 43-0188
東白衛生組合 43-0378

募集

放送大学4月生募集

放送大学福島学習センター
放送大学では、平成28年度第1学期（4月入学）の学生を募集中です。放送大学は、テレビなどの放送やインターネットを通して学ぶ通信制の大学です。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。資料を無料で差し上げています。お気軽にお問い合わせください。

■出願期間
1回目
平成28年2月29日(月)まで
2回目
平成28年3月20日(日)まで
■問い合わせ
放送大学福島学習センター
☎024(921)7471

お知らせ

放送大学4月生募集

放送大学福島学習センター
税務署では、適正かつ公平な課税を実現するため、不動産使用料の支払調書をはじめとする各種情報を収集・分析するとともに、納税者の方から自発的な適正申告を行っていただくための取り組みを充実

相談

人権についてご相談ください

法務省人権擁護局および全
福島地方法務局

対し、各種手続き（共済手帳の紛失、退職金の請求など）が必要な場合は、できる限りの範囲において速やかに対応したいと考えておりますので、最寄りの支部または本部へお問い合わせください。お気軽にお問い合わせください。

☎03(6731)2887
国人権擁護委員連合会では、12月10日(世界人権宣言採択日)の「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、この日を中心として、積極的な啓発活動を実施することとしています。

ごみの減量化にご協力ください

一東白クリーンセンターが工事中です

東白クリーンセンターでは、平成26年度から平成28年度にかけて、ごみ焼却施設の老朽化に伴う基幹的改良工事を行っています。工事期間中の平成28年1月中旬から平成28年3月中旬にかけては、工事の都合上、燃えるごみの焼却処理が困難になりますので、以下の事項をご覧の上、ごみの減量化および工事へのご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

■ごみ収集
通常と変わらず、午前8時30分より行いますので、必ず8時30分までに指定された集積所にごみを出してください。また、お配りしている「ごみ分別ガイドブック」をご覧のうえ、分別の徹底をお願いします。

■ごみの直接搬入
工事期間中でもごみの直接搬入は可能ですが、平成28年1月中旬から平成28年3月中旬までは、工事のため焼却処理が困難です。できる限り搬入についてご考慮していただきますようお願いいたします。なお、不燃物類については、通常通り搬入していただいて結構です。

■お問い合わせ
東白衛生組合 ☎43-0378

■お問い合わせ
福島地方法務局
☎024(534)1994

■日時
平成27年12月13日(日)
午前10時から午後4時
■現地相談場所
郡山市労働福祉会館
会津若松市生涯学習総合センター
■電話での相談番号・問い合わせ
福島県労働委員会事務局
☎024(521)7594

おくやみ申し上げます

10月16日から11月15日までの届け出

亡くなられた方	年齢	住所
田村 光夫 ㊤	92歳	台宿
菊池 サキ ㊤	95歳	伊香
石黒 光 ㊤	80歳	本町
矢吹 新吉 ㊤	93歳	代官町
白石 太一 ㊤	68歳	川上
鈴木 圭一 ㊤	91歳	大蔵
鈴木 博美 ㊤	84歳	伊香
天沼 宏 ㊤	84歳	東河内
江田 七男 ㊤	80歳	植田
白石 實 ㊤	88歳	桜木町
佐藤 博美 ㊤	86歳	代官町

※この欄に掲載を希望されない方は、届け出の際に窓口にお申し出ください。

町が独自に調査した放射線測定値を報告します

(町内35カ所)		片貝分館
埴町役場	西河内分館	折尾集会所
11/12 0.08	11/12 0.08	11/12 0.09
道の駅はなわ	堀越集会所	殿畑集会所入口
11/12 0.07	11/12 0.10	11/12 0.10
上洪井集会所	小高集会所	石堀子集会所
11/12 0.10	11/12 0.10	11/12 0.09
台宿分館	東河内分館	矢塚集会所
11/12 0.08	11/12 0.12	11/12 0.09
稲沢集会所	一本木集会所	那倉分館
11/12 0.10	11/12 0.12	11/12 0.11
上石井分館	中塚集会所	大平・大竹正勝さん宅入口
11/12 0.10	11/12 0.10	11/12 0.10
吉成運送第2倉庫前	笹原地区公民館	那倉呼石入口バス停前
11/12 0.12	11/12 0.10	11/12 0.12
伊香分館	川上四区集会所	田代権現堂
11/12 0.10	11/12 0.09	11/12 0.11
古宿屯所前	大蔵分館	田代分館
11/12 0.10	11/12 0.11	11/12 0.12
高城地区公民館	前田集会所	丸ヶ草分館
11/12 0.10	11/12 0.10	11/12 0.09
真名畑分館	木野反分館	単位： マイクローベルト/時間
11/12 0.11	11/12 0.09	
常豊地区公民館	湯遊ランドはなわ	地上1mで測定
11/12 0.08	11/12 0.08	

※測定機器：シンチレーションサーベイメータ 日立アロカ TCS172
※福島県ホームページにおいて、福島県放射線測定マップが公表されています。

させていくこととしております。昨年、仙台国税局管内の税務署において、書面でのお尋ねなどにより申告内容の自主的な見直しを呼びかける取り組みを行った結果、不動産所得の申告漏れや計算誤りがあった方から修正申告書などが提出されております。納税者の皆さまにおかれましては、適正申告を行っていただくため、申告内容の自己点検（見直し）を実施していただき、誤りがあった場合には自主的な修正申告書などの提出をお願いします。※自主的な修正申告書の提出については、過少申告加算税は課されません。

■お問い合わせ
白河税務署
☎0248(22)7111
東京電力からの営業損害に対する賠償金の取り扱い
白河税務署
避難指示などにより、業務に従事することができなかったことや、いわゆる風評被害などによる減収分に対して支払いを受ける賠償金は、事業所得等の収入金額になります。

■お問い合わせ
白河税務署
☎0248(22)7111
林業の仕事をしていただけませんか
林業退職金共済事業本部
林業退職金共済制度（林退共）からのお知らせです。林退共制度に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。以前、林業の仕事をしていたが、ご自身が林退共へ加入していたか分からない方についても調べたいです。また、罹災された共済契約者および被共済者の皆さまに

Town Topics



「地域の先生方のおかげです」と受賞の喜びを語りました

塙中学校が県書道連盟大賞受賞

—個人でも10名が特別賞受賞—

塙中学校（大越憲峰校長）は、10月8日（木）から10月11日（日）に福島県文化センターで開催された第39回福島県書道連盟選抜展で、昨年に引き続き、最優秀団体賞として「県書道連盟大賞」を受賞しました。最優秀団体賞は、3団体のみしか受賞できないとても栄えある賞です。また、個人の部でも、県文化センター館長賞をはじめ、10人が特別賞を受賞しました。

消防団への理解を深める

—ふくしま消防防災出前講座—

11月6日（金）若年層の防災意識の啓発と、消防団の将来を担う人材を確保するため、ふくしま消防防災出前講座が塙工業高校の3年生を対象に同校で行われました。塙町消防団指導部の佐藤健吾さんと、第1分団第5班の緑川恵さんが講師となり、消防団の意義と現状、消防団活動の経験談などを講話しました。受講した生徒からは「やりがいを感じる時はどのような時ですか」と質問が出るなど、消防団の必要性を伝える良い機会となりました。



「やりがいは、地域のために活動出来たと感じる時です」と語る佐藤さん

真に豊かな長寿社会実現のために

—平成27年度塙町高齢者大会—

11月20日（金）塙町老人クラブ連合会（木村澄男会長）主催の平成27年度塙町高齢者大会が、塙町公民館で行われ、約200人が参加しました。大会では、高齢者作品展表彰（塙第二百寿会ほか）の後、日本3B体操協会による「日常生活に運動習慣を」をテーマに講演会が行われました。午後の部では、塙第一百寿会のダンスをはじめ、コーラスやカラオケなどの芸能発表会が行われ、会場は大いに盛り上がりました。



塙第二百寿会によるコーラス



心をひとつに合唱（塙）



あのルパンと対決！（笹原）



迫真の演技（常豊） かわいらしい踊りを披露（常豊）



お経の読み上げもお手のもの（笹原）

練習の成果を披露

—塙小、常豊幼・小、笹原小で発表会—

10月31日（土）塙小学校で「学習成果発表会」、常豊幼稚園・小学校で「つねとよフェスタ」、笹原小学校で「笹原フェスタ」が行われました。各小学校、常豊幼稚園の児童・園児は、この日のために一生懸命学習・練習してきた成果を、存分に披露しました。その迫力ある演技や、心のこもった歌声に、会場に駆け付けた保護者からは、大きな歓声と拍手が送られていました。

まちの話題

あなたの地区の話題を提供してください。
取材に伺います。
※広報はなわに掲載された写真を希望される方は、
総務課 ☎ 43-2111 までご連絡ください。



このコーナーでは、東京塙会の皆さんの住む街のことや近況について紹介しています。

私の住む街Now

古市 和男さん

埼玉県草加市在住 (本町出身)

-Vol.10-

から浅草駅まで料金が310円、時間にして25分から30分くらいで都心まで行ける便利な所です。また、草加松原には昔から有名な松並木があり、旧日光街道にとってもきれいに並んで、通行する皆さんの目を楽しませてくれます。少し離れた西側には、国道4号線もあり、利便性のあるすごく良い街と自負しています。また、近くには外環自動車道も目と鼻の先にあります。住めば都ですね。

話が田舎に戻りまして、去年数人の友人と一緒に、湯岐に車で観光し、楽しむことができました。今後も、元気なうちに塙町には度々遊びに行きたいと思っています。町の皆さま、よろしくお願いたします。ありがとうございました。

【次回は、東京都江東区在住の樋口久さんです。】

古くて新しい街「草加」

塙町、東京塙会の皆さま、こんにちは。お久しぶりです。私は、4年前の広報はなわに小・中学校時代の懐かしい思い出を掲載させていただきました。当時は塙町大町、現在の役場の近くに住んでいました。今は、草加市松原という町に住んでおり、東京都足立区から移り住んで14年くらいになります。また、都市再生機構の住宅建て替えにより、新築11階の建物の3階に越して、4カ月になるう

としています。今までの古い建物からすると、設備が整っていて快適な住まいです。ベランダ側に川があって、その向こうには獨協大学があり、グラウンドが広がっていて、常にさまざまなスポーツの練習が楽しめます。また、若い学生さんがお祭りのように大勢で登校する姿を見ていると、若い時を思い出し、懐かしく若返った気分になります。駅名は、草加駅の1つ次の松原団地駅です。東京にスカイツリーができて3年、路線も東武線からスカイツリーラインに変更になりました。松原団地駅

こんにちは赤ちゃん

10月16日から11月15日までの届け出

出生児名	父	母	月/日	住所
土手内凜心 <small>りんこころん</small>	拓	矢・梨	夏 10/11	上石井
松本 倅弥 <small>けいや</small> くん	好	之・悦	子 10/15	真名畑
星 海登 <small>かいと</small> くん	勇	樹・和	10/17	上渋井



心温まる善意に感謝 (11月分)

- 星電設株式会社 様
電気敷毛布 5枚 (友愛訪問先へ)
- 塙町商工会女性部 様
靴下 50足 (デイサービスセンター利用者へ)



電気敷毛布を贈る星和典さん 靴下を贈る高澤和子さん(中)と下重さく江さん(右)

随想リレー

お待ちかね！
あなたの出番です。

-Vol.313-

おおとも あい
大友 愛さん(東河内)

職 業:会社員
趣 味:子どもたちとたわむれ(笑)
好きな言葉:(子どもたちから)ママ大好き



「感謝・幸せ」

羽田祐子さんから随想リレーを引き継ぎました、大友愛と申します。リレーを引き継ぐなんて、想像もしてなくて、何を書いていかすごく迷いましたが、感謝していること・幸せに思うことを書きたいと思います。

私には3人の子どもがいます。5歳、3歳、2歳と歳が近く、慌ただしい毎日です。子どもたちがけんかをしている姿を見ると、自分の子どもの頃の姿を思い出します(たいたい・たたかない、1回は1回っていう会話(笑))。私も4人兄弟なので、そのたびに、実家の家族も大変だっただろうと、親になってよく思います。そして、自分の幼少期に学校から帰宅して「たいたい」と言うと、「おかえり」と出迎えてくれた祖父母。何気ない会話ではありますが、幸せだったと思うことがあります(家族が大好きでした)。だからこそ、自分の子どもたちが家に帰った時、出迎えてくれる祖父母の「おかえり」という言葉に、ニコニコ

して「たいたい」と言っている姿に、ホッと幸せを感じます。また、「おはよう」と起きてくる子どもたちの姿。3人も違った「おはよう」で…。元気に起きてくる姿、まだ眠いと言って起きてくる姿、泣いて起きてくる姿。そんな姿も私にとって幸せを感じるひとときです。

私たちは、両親と暮らしています。自分たちではできないことがたくさんあり、サポートしてもらっていることに本当に感謝しています。普段言えないので、ここでお礼を言わせてください。いつもありがとうございます。

最後に最愛の子どもたちへ。私の所に産まれてきてくれてありがとう。あなたたちに囲まれて本当に幸せです。私が頑張るのは、あなたたちがいるからだよ。これからの成長を楽しみにしています。まだ未熟な私ではありますが、日々、周りの方々に助けていただいていることに感謝しています。

【次回は高久春香さん(柳町)です。】

のびのび すくすく

埴町は、むし歯ゼロを目指しています。

11月24日（火）に行われた3歳児健診（受診者14人）で、むし歯が1本もなかった子どもたち8人を紹介します。

これからも、むし歯ゼロに向けて、歯みがきをきちんとしましょうね。



きくうち さな
菊内咲菜ちゃん
(植田)



かみつま みなみ
上妻 南ちゃん
(西河内)



あんど そうしろう
安藤奏司朗くん
(宮田町)



ななみや いつき
七宮惟月ちゃん
(台宿)



あおと あやは
青戸采葉ちゃん
(常世中野)



おちあい げんき
落合元気くん
(植田)



えんど ほのか
遠藤ほのかちゃん
(末広町)



おおもり ゆうあ
大森友愛ちゃん
(上洪井)

● 休日の当番医

12月6日(日)	おおひら整形外科クリニック ☎ 33-9468	12月27日(日)	つちやクリニック ☎ 43-2250
12月13日(日)	埴 厚生病院 ☎ 43-1145	12月30日(水)	ふじた循環器内科クリニック ☎ 33-2013
12月20日(日)	木村 医院 ☎ 46-3528	12月31日(木)	埴 厚生病院 ☎ 43-1145
12月23日(水)	あらまちクリニック ☎ 33-8018	1月1日(金)	和田 医院 ☎ 33-2012

● 今月の納税等

町 県 民 税 4期
国民健康保険税 6期
後期高齢者医療保険料 5期
介護保険料 6期
納 期 限 12月25日(金)
◆口座振替日は12月25日(金)です。

● 町の人口 9,393人(11月1日現在)

男性 4,666人(+4) 世帯数 3,330世帯(-3)
女性 4,727人(-3) ()内は前月比

※広報はなわの「町の人口」は、住民基本台帳の人口、世帯数を掲載しています。

発行・編集／埴町役場
印刷／佐藤印刷所
〒963-1549
福島県東白川郡埴町大字埴三丁目21番地
FAX(0224)4431211
TEL(0224)4431216

▼今月号は、介護予防特集を掲載しました。一口に介護予防と言っても、多くの事業があることがわかりました。また、どれだけ利用者にとってサービス提供が必要であることも分かり、知っていたようでも知らなかったことが多く、私自身とても勉強になりました。▼3年に一度の出羽神社例大祭、恥ずかしながら初めて見ました。この2日間のために、何カ月も前から太鼓や篠笛の練習を重ねてきた子どもたちや、準備をしてくれた皆さん、本当にお疲れ様でした。その迫力に、ただただ圧倒されてしまいました。▼今年も盛大に開催された埴町産業祭。雨の影響も若干ありましたが、無事に終了することができて良かったです。埴町の名物イベントである埴町産業祭、今後も毎年の恒例行事として盛り上がりを見せたいです。
(松)

編集後記

優良市町村交通対策協議会として表彰されました



平成27年10月15日(木)に南相馬市で行われた第54回福島県交通安全県民大会の席上で、優良市町村交通対策協議会として、埴町交通対策協議会が表彰されました。交通死亡事故ゼロ

1,000日達成や交通安全活動を積極的に推進したことが評価されていた表彰となりました。